

宮古市寄附金活用事業報告書（令和3年度）

令和2年1月1日から令和2年12月31日までにお寄せいただいた寄附金について、令和3年度に実施する主に以下の事業に活用させていただきます。（活用総額：126,798,174円）

01 子育て支援の充実に

● 地域子育て支援拠点事業（寄附金活用金額：6,176,896円）

子育て支援センター、つどいの広場、ファミリーサポートセンターの設置・運営を行います。

02 産業の振興に

● 地産地消推進事業（寄附金活用金額：300,000円）

市内の農業の実態を理解し、市内で生産されるさまざまな農産物の地産地消を推進するため、季節ごとに農業体験事業を実施します。

● 林業体験推進事業（寄附金活用金額：500,000円）

植樹活動を通じて、林業への理解を深めてもらうとともに、樹木が作り出す栄養がいずれ宮古湾に注ぎ、海が豊かになることを実感してもらうため、市有林等を活用した森づくり体験学習会を実施します。



写真① 植樹体験の様子

● 廻来船誘致対策事業（寄附金活用金額：7,865,829円）



宮古市魚市場の水揚げは、廻来船が数量・金額とも大きな割合を占めていることから、関東、北陸、北海道、東北地区の船主や漁業協同組合などに対して、官民一体の誘致活動を行うとともに、廻来船が使用する氷に対して一定の助成を行い、水揚げの増大と加工原魚の確保を図ります。

写真② 廻来船によるサンマ水揚げの様子

● 中小企業等支援事業（寄附金活用金額：1,274,501円）

新型コロナウイルス感染症の影響を受け業績が悪化した中小企業者の経営安定を図るため、借り入れた資金に係る利子相当額を助成します。

03 自然環境の保全に

● 自然保護事業（寄附金活用金額：2,479,000円）

市内の動植物の調査・保全を行うとともに、市民の自然環境保全意識の向上を図るため、自然観察会を行います。

04 教育環境の充実に

● 図書館運営事業（寄附金活用金額：11,612,132円）

市民の生涯学習活動を支援するため、図書館資料の整備と市民が読書に親しむ環境づくりを推進します。

05 地域文化の保存・伝承に

● 民俗芸能記録保存事業（寄附金活用金額：775,500円）

古くから伝承する郷土芸能を後世に伝えるため、映像により記録保存する取り組みを行います。

06 市長におまかせ

● 国民健康保険事業（寄附金活用金額：13,824,000円）

子育て世代の経済的負担を軽減し、子育てしやすい環境を整備するため、国民健康保険税のうち子どもの均等割を減免します。

● 特定不妊治療費助成事業（寄附金活用金額：10,000,000円）

特定不妊治療を受けた夫婦の経済的負担を軽減するため、治療費の一部を助成します。

● 幼児教育・保育無償化に係る市単独事業（寄附金活用金額：23,517,000円）

幼児教育・保育の無償化に伴い、実費徴収されることとなった私立幼児教育・保育施設の副食費を給付するほか、国の無償化の対象とならなかった0～2歳児の施設等の利用料について給付します。



写真③ 市内保育所の様子

● 高齢者エリア定期券補助事業（寄附金活用金額：10,000,000円）



高齢者が外出しやすい環境を整えるとともに、高齢ドライバーによる交通事故の抑制や外出機会の増加による健康寿命の延伸を図るため、バス事業者と連携し高齢者向けの市内路線バス定期券を販売します。

写真④ 市内路線バスの様子

● 野生鳥獣肉処理加工等検討事業（寄附金活用金額：1,000,000円）

野生鳥獣による被害防止の一つの取組として、市内における野生鳥獣の肉（ジビエ）の食肉加工ビジネスの実現可能性や、加工施設のあり方などを調査・研究します。

● 健康公園整備事業（寄附金活用金額：8,800,000円）

幅広い年齢層が利用しやすい公園づくりを行うため、健康遊具（日常生活での健康づくりに役立つ大人向けの遊具）を設置します。

● 小中学校への教材等整備（寄附金活用金額：4,700,000円）

教育環境の充実を図るため、小中学校で使用する教材等の購入を行います。



写真⑤ 市内小学校の様子

07 東日本大震災からの復興に

● 防災学習ツアー促進事業（寄附金活用金額：8,000,000円）

震災の教訓を伝える防災学習ツアー「学ぶ防災事業」の運営を支援し、観光客の誘客を図ります。

● 心の復興事業（寄附金活用金額：2,132,000円）



東日本大震災により被災した市民の心の復興を図ることを目的に、文化芸術鑑賞の機会を提供するための事業を実施します。

写真⑥ 心の復興事業「みやこ復興寄席」
（写真は春風亭昇太さん）の様子

● 文化振興事業（寄附金活用金額：4,530,000円）

被災地支援活動により、小中学生への文化芸術鑑賞の機会を提供するための事業を実施します。



写真⑦ 文化振興事業「佐渡裕&スーパーキッズ・
オーケストラ2019」の様子

● 復興推進スポーツチャレンジ事業（寄附金活用金額：3,000,000円）

震災後、外で運動する機会が少なくなっている子供たちに、身体を動かす楽しさや喜びを実感できる機会を提供します。

08 津波遺構（たろう観光ホテル等）の保存に

● 津波遺構保存事業（寄附金活用金額：2,033,025円）

津波で被災した「たろう観光ホテル」を、震災の教訓を後世に伝える津波遺構として保存整備するため、国の支援（復興交付金）により保存工事を実施しました。寄附金は津波遺構保存基金に積み立て、維持管理などの費用に活用します。



写真⑧ 津波遺構「たろう観光ホテル」外観

09 令和元年台風第19号による被害への対応に

● 就学援助事業（寄附金活用金額：4,095,316円）

被災に伴う経済的な理由により、就学困難な児童、生徒に対して、学用品費や給食費などを援助します。

新型コロナウイルス感染症対策への活用報告

令和2年度において、下記事業に活用させていただきました。

● 特産品等活用学生支援事業 (寄附金活用金額：3,650,000円)

宮古市出身の大学生等の修学環境の維持及び市内中小企業者の収益の確保のため、大学生等に対し宮古市産の米やお菓子・加工品等の特産品を送付しました。



特産品詰め合わせの例

● 大学生等修学継続支援事業 (寄附金活用金額：3,650,000円)

宮古市出身の大学生等の日常生活や修学環境の維持のため、自宅外で生活する大学生等に対し、一人当たり5万円の支援金を支給しました。

クラウドファンディングの実施報告

令和2年度において、ふるさと納税を活用したクラウドファンディングを下記のとおり実施しました。

テーマ：「黒森神社」の危機を救え！地域住民発「宮古地方の歴史の背骨」修復プロジェクト



本殿正面（修復前）

■実施理由／背景

1850年に建立された宮古市指定有形文化財「黒森神社」は、岩手県指定文化財の獅子頭「権現様」を多数保存しているほか、境内はアジサイの名所としても知られ、観光客や地域住民に親しまれてきました。神社の権現様を奉じる「黒森神楽」は国の重要無形民俗文化財に指定され、現在も廻り神楽として、岩手県沿岸の集落を巡業しています。

黒森神社はこれまで地元有志によって維持管理されてきましたが、長年の風雨や雪による傷み、経年劣化などが見られており、特にも屋根の腐食が激しく、内部の一部に雨漏りによるカビの発生が確認されるなど、社殿本体も大きく損傷しかねない状況でした。

■内容

黒森神社本殿の既存の屋根葺き材（銅板）を撤去、小屋組みを解体修理し、新しい銅板で屋根葺きをしました。また、社殿を末永く保存できるよう、防虫処理を行いました。

取組の財源として、クラウドファンディングにより寄附金を募りました。



軒先の腐食状況（修復前）

本殿正面（修復後）

■クラウドファンディングの実施結果

実施期間：令和2年3月2日（月）～令和2年6月30日（火）

寄附金額：1,836,000円(目標3,600,000円)

◆お問い合わせ先

〒027-8501 岩手県宮古市宮町一丁目1番30号 宮古市役所4階

宮古市総務部財政課財政係 ふるさと納税担当

電話：0193-62-2111（内線4314） FAX：0193-63-9114

mail：zaisei@city.miyako.iwate.jp

◆寄附申込先

株式会社さとふる URL：https://www.satofull.jp/city-miyako-iwate/

さとふる CHOICE URL：https://www.furusato-tax.jp/city/product/03202



さとふる



CHOICE